

第619回 定期演奏会

The 619th Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

イギリスの名匠ジェームズ・ジャッドの「惑星」

上海アイザック・スターン国際コンクールの覇者、木嶋真優

指揮 ジェームズ・ジャッド

Conductor : James JUDD

ヴァイオリン 木嶋 真優

Violin : Mayu KISHIMA

合唱 京響コーラス

Chorus : Kyoto Symphony Chorus



©Keiichi Suto

©Miguel Alonso

プロコフィエフ：ヴァイオリン協奏曲第2番ト短調op.63

ホルスト：組曲「惑星」op.32

Prokofiev : Concerto for violin and orchestra No.2 in G minor op.63

Holst : "The Planets" suite for orchestra op.32

京都市交響楽団

京都コンサートホール

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分

午後2時30分開演 (午後1時30分開場)

2018 1/20^土・1/21^日

Sat, January 20, 2018 / 2:30PM Sun, January 21, 2018 / 2:30PM Kyoto Concert Hall

開演前 (午後2時10分ごろから) は
指揮者による「プレトーク」でお楽しみください。
「プレトーク」はホール・ステージ上で開催します。

入場料 **S**¥5,000 **A**¥4,500 **B**¥3,500 **P**¥2,000 (舞台後方席)

当日残席がある場合のみ発売 ▶ 学生券&後半券 **S**¥2,000 **A**¥1,500 **B**¥1,000

※学生券は開演1時間前から (学生証をご提示ください)、後半券は開演後から休憩終了 (後半開始) まで発売 (学生券は、席種は選べますが、座席指定はできません)。

- ◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約)をご利用ください。
(お子様お1人につき1,000円/2018年1月12日までに京響075-711-3110へお申し込みください)
- ◆10枚以上のチケットお申し込みには団体割引 (10%OFF) があります。
京響 (075-711-3110) までお問い合わせください。

プレイガイド (電話予約)

- 京都コンサートホール… (075)711-3231 ●ロームシアター京都… (075)746-3201
- 24時間オンラインチケット購入… <https://www.e-get.jp/kyoto/pt/>
- チケットぴあ… (0570)02-9999 Pコード315-349
- ローソンチケット… (0570)000-407 Lコード53573



©伊藤菜々子

お問い合わせ
京都市交響楽団 (075)711-3110 <http://www.kyoto-symphony.jp/>
京都コンサートホール (075)711-3231 <http://www.kyotoconcerthall.org/>

◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。 ◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。

文化庁文化芸術振興費補助金 (舞台芸術創造活動活性化事業)

主催：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団 京都市 協賛：ローム株式会社 協力：株式会社ドルチェ楽器 後援：(株)エフエム京都 発行：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。

Rohm Music
Foundation
ロームミュージックファンデーション



京都市交響楽団

第619回定期演奏会

イスラエル響の音楽監督、テジョン・フィルの芸術監督および首席客演指揮者で、2017年9月からスロヴァキア・フィル音楽監督および首席指揮者にも就任したジェームズ・ジャッドが、2014年以来、待望の再登場。イギリス出身ジャッドが聴かせるお国もの、イギリスの作曲家ホルストの「惑星」に期待が高まります。国内外で幅広く活躍、2016年第1回上海アイザック・スターン国際コンクール優勝で世界的に注目を浴びる木嶋真優のプロコフィエフは必聴！

The 619th Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

指揮 ジェームズ・ジャッド
Conductor : James JUDD



©Harald Hoffmann

現在、イスラエル交響楽団の音楽監督、テジョン・フィルハーモニック管弦楽団の芸術監督および首席客演指揮者、スロヴァキア・フィルハーモニー管弦楽団の音楽監督および首席指揮者を務める。これまでに、リール国立管弦楽団の首席客演指揮者、フロリダ・フィルハーモニー管弦楽団の音楽監督、ニュージーランド交響楽団の音楽監督を歴任した。イギリス生まれ。ロンドン・トリニティ・カレッジ・オブ・ミュージックを卒業後、ロリン・マゼールの推薦によりクリーヴランド管弦楽団のアシスタント・コンダクターとなる。その4年後、クラウド・アバドからヨーロッパ・コミュニティ・ユース・オーケストラの副音楽監督に任命され、現在は名誉芸術監督を務める。これまでに、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン交響楽団、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団、フランス国立管弦楽団、スイス・ロマン管弦楽団、チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団等を指揮し、アジアではソウル・フィルハーモニー管弦楽団やアジア・ユース・オーケストラ等に多数招かれ、日本では京都市交響楽団、NHK交響楽団、東京都交響楽団、日本センチュリー交響楽団を指揮している。オペラでは、イングリッシュ・ナショナル・オペラ等に多数登場し、1993～1996年にはフロリダ・グランド・オペラの芸術監督を務めた。ヨーロッパ室内管弦楽団の共同創設者であり、世界各地へのツアーは高い評価を受けた。ニュージーランド交響楽団では1999～2007年の間、当初の音楽監督を務め、国際的な知名度を一気に上げた。創団以来初となるヨーロッパの主要なコンサートホールへのツアーを実現させ、BBCプロムスへのデビューとアムステルダム・コンセルトヘボウへの登場は大成を収めた。現在は名誉音楽監督の職にある。数々の録音をリリースし、いずれも高評を得る。特にハルモニア・ムンディからのフロリダ・フィルハーモニー管弦楽団との「マーラー：交響曲第1番」は、アメリカの「ステレオファイル」誌で「今月の一枚」に選ばれ、フランスの「ディアパゾン」誌で金賞を、ザルツブルク音楽祭ではグスタフ・マーラー協会からその年の最も優れたマーラーの新録音に贈られる「トブラッハの作曲小屋賞」を受賞した。

ヴァイオリン 木嶋 真優
Violin : Mayu KISHIMA



©Keiichi Suto

2016年第1回上海アイザック・スターン国際ヴァイオリン・コンクールにて優勝。神戸生まれ。3歳でヴァイオリンを始める。2000年第8回ヴェニエフスキ国際ヴァイオリン・コンクール・ジュニア部門にて日本人として最年少で最高位(1位なし第2位)を受賞し一躍話題となる。2011年ケルン国際音楽コンクールのヴァイオリン部門で優勝、あわせてその優れた音楽的解釈に対しDavid Garrett賞も受賞。2004年6月モスクワでスピヴァコフ指揮ロシアシヨナル・フィルと共演し、地元紙では、「巨匠(ムスティスラフ・)ロストロポーヴィッチが「世界で最も優れた若手ヴァイオリニスト」と絶賛するにふさわしく、見事なテクニクと成熟した解釈で聴衆を圧倒した。」と評される。レコーディングは、ウラディーミル・アシュケナージから強い推薦を受け、「アシュケナージ&NHK交響楽団」の「ツィガーヌ」に参加。そのほかソロCDは「シャコンヌ」、「Rise」をリリース。また、2016年5月にワーナー・クラシックスから発売されたアルゲリッチ&フレンツのライブCDに、2015年のアルゲリッチ・プロジェクト「ルガーノ・フェスティヴァル」での演奏が収録されている。現在日本とヨーロッパに拠点を置き、アメリカ、アジアにもその活動の場を拡げている。最近ではサイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管弦楽団への参加も果たしている。これまでに林泉、戸上和代、江藤俊哉、ドロシー・デイレイ、川崎雅夫、小栗まち絵、工藤千博、ザハール・ブロンに師事、2012年春にはケルン音楽大学を首席で卒業、2015年秋には同大学院を満場一致の首席で卒業し、ドイツの国家演奏家資格を取得、また2016年秋には神戸市より神戸市文化奨励賞を授与された。2002年度文化庁海外派遣研修員。2012年NHK大河ドラマ「平清盛」紀行の音楽に参加。TBS「情熱大陸」にも出演、話題となった。使用楽器は、ストラディバリウス1700年製 Ex Petri (上野隆司博士より貸与)。
木嶋真優オフィシャル・ホームページ <http://www.japanarts.co.jp/artist/MayuKISHIMA>

合唱 京響コーラス
Chorus : Kyoto Symphony Chorus

1995年秋、京都コンサートホールが完成した当時の京響常任指揮者&音楽監督・井上道義の提唱で「京響第九合唱団」として結成。その後「京響市民合唱団」と改名し、12年からはさらに音楽的な高みをめざして、京響の自主演奏会を軸にオーケストラ合唱作品に取り組む「京響コーラス」と名称を変更、創立者の井上道義を創立カペルマイスター、京響常任指揮者広上淳一をスーパーヴァイザーに迎えて新たにスタートした。現在、約150名の団員で構成されており、毎週月曜日の夜を中心に京響練習場・京都市内文化会館等で練習を行っている。



©伊藤菜々子

京都市交響楽団 Kyoto Symphony Orchestra

日本唯一の自治体直営オーケストラとして1956年創立。2008年4月第12代常任指揮者に広上淳一が就任。2014年4月から常任指揮者兼ミュージック・アドバイザーに広上淳一、常任首席客演指揮者に高関健、常任客演指揮者に下野竜也が就任。2015年「第46回サントリー音楽賞」受賞。同年6月ヨーロッパ公演で成功を収め、2016年は創立60周年記念国内ツアーと京都市内で「ふらっとコンサート」を開催し、平成28年度地域文化功労者表彰を受ける。2017年4月からは下野竜也を常任首席客演指揮者に据えて広上・高関・下野による3人指揮者体制を確立し、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。

2017 11/25 土
から発売!



©Otu Montosen

第620回定期演奏会

フィンランドの異才、ムストネンのすべて!
自作自演・ピアノ弾き振り・シベリウス交響曲第2番

日時：2018年2月16日(金) 午後7時開演
会場：京都コンサートホール
指揮&ピアノ：オリ・ムストネン
曲目：オリ・ムストネン：弦楽オーケストラのためのトリプティック
ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第3番ハ短調op.37
シベリウス：交響曲第2番ニ長調op.43

入場料 S ¥5,000 A ¥4,500 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)

❖ 次回予告 ❖

2017 12/27 水
から発売!

第621回定期演奏会

ジェルメッティの「ボレロ」～熱狂のクレシェンド
世界屈指のチェリスト、ピオヴァノが奏でるドヴォルザーク

日時：2018年3月17日(土) 午後2時30分開演
2018年3月18日(日) 午後2時30分開演
会場：京都コンサートホール
指揮：ジャンレイジ・ジェルメッティ
独奏：ルイジ・ピオヴァノ (チェロ)
曲目：ロッシェニ：歌劇「ウィリアム・テル」序曲
ドヴォルザーク：チェロ協奏曲短調op.104
ラヴェル：道化師の朝の歌、
亡き女王のためのパヴァーヌ、ボレロ



©Alain Hanel



©Laurence Heym

入場料 S ¥5,000 A ¥4,500 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)